

ITビジネスリーダーのための ITエグゼクティブフォーラム



リーマンショック以降の激動の時代にあつて、IT業界もまた大きな転換期を迎えております。従来のマーケット分析型の経営手法は終りを告げ、確固とした理念に基づき、高い付加価値を提供する《理念主導型経営》が求められる時代になっていくのではないのでしょうか。

このような潮流の中、我々アイ・ティ・イノベーションは、戦略や変革に携わるITエグゼクティブに対し、経営の舵取りに必要なアイデアや具体的な事例をご紹介しますとともに、ご参加いただいた方々と、あるいは時代のトレンドに沿った旬の

分野から厳選された講師・専門家との討議を通じ、新たなビジネスのヒントや事業の創造あるいは提携の機会などを提供する『ITエグゼクティブフォーラム』を開催いたします。

多忙なエグゼクティブの方の貴重なお時間を頂戴するに足るフォーラムとするべく、弊社と致しましても全力で取り組んでまいりますので、是非ご参加いただきたくお願い申し上げます。

フォーラムの概要

【フォーラムの目的・狙い】

- 経営戦略に関する情報収集および討議
- 最新のITトレンドや技術を紹介することによる新規事業機会の創出
- ITエグゼクティブの親睦並びに新たな提携先の紹介等

【対象者】(参加資格例)

- ユーザー企業 : 社長並びにIT組織担当役員、部門長、部長
- 情報子会社 : 社長、役員
- 一般IT事業者 : 社長、役員

(15社、20名程度を限度とさせていただきます。)

【実施時期・時間割・会場・費用】

- 開催時期と回数
 - ・開催時期 : 2010年8月～2011年3月
 - ・開催回数 : 計5回
- 時間割(開催回によって変更もあります)

14:00 ～14:30	参加企業・業務紹介	参加者間の相互理解やビジネス機会の創出の為、簡単なアピールを行う時間とします。
14:30 ～16:00	講演	経営やITに関する講師を招聘し、情報収集や知見を得る機会とします。(途中休憩10分程度)
16:00 ～18:00	意見交換	講師を囲みフリーディスカッションで質疑応答、意見交換を行う場とします。(途中休憩10分程度)
移 動		
18:10 ～20:00	情報交換会	軽食を交えた懇親の場とします。 ゆっくり質疑応答や意見交換も可能な機会とします。
散 会		

● 会場

会場は弊社にて設営する場合あるいはご参加企業にご提供をお願いする場合があります。
また、同意をいただいた上で郊外の施設を利用する場合があります。

● 費用

- ・2名あたりの参加費 50万円(1社)
- ・3名以上参加の場合、追加の1名あたり20万円
(テキスト代金、講演者の講師料、会食費は上記に含まれます。)
- ・郊外の有料施設などを使用する場合には、別途実費等をご負担いただきます。

各回の開催日程および内容(構想)

※講師及び各開催回の内容については現在調整中であり、変更になることがあります。

第1回 2010年 8月31日	超上流の成功要因(PM+BAトレンド、ツール)と近未来のIT基盤 講師：林衛、株式会社ディー・ピー・エス 近藤史人氏
第2回 2010年 9月28日	「Internet of Things という未来」 グーグル株式会社 村上憲郎名誉会長 ～『世界の情報を整理して、世界中の人がアクセスできて、使えるようにする』というミッションを掲げて、次々と新しいサービスを、それも無料で提供するグーグル。ここ数年は、IT産業全体を根本的に変革するかもしれないといわれる『クラウド・コンピューティング』という新しいコンピューティング・スタイルの提唱者・推進者としても、注目されている。さらに、クラウドを支える巨大データセンタの省エネ化・グリーン化に必須であるとして、オバマ政権の『グリーン・ニューディール』政策に寄り添う形で、『再生可能エネルギー』や『スマートグリッド』へのコミットメントを深めている。講演では、これらの点の個々の内容と、それらの相互連関の必然性と整合性を、概説すると共に、特にインターネットの新たな拡張としてのスマートグリッドの『Internet of Things』としての可能性とビジネスチャンスについて、グーグルの展望を語る。
第3回 2010年11月30日	1. グローバル化への対処(インド、中国企業の紹介) ～patni、Infosys、江蘇潤和軟件(HOPERUN)、東軟集団(Neusoft)等(未定)、(略称) 2. ITグローバル法務の勘所(仮題) ～エンデバー法律事務所弁護士 水越尚子先生
第4回 2011年 1月25日	ドラッカー一流IT企業の体質を変えるためには(ドラッカー経営思想の真髄) 社会生態学者ドラッカーに学び、人と組織を変貌させる～(仮題) 講師：ドラッカー学会代表 上田惇生先生
第5回 2011年 3月22日	1. IT組織変革の事例(グローバル化戦略を含む) ヤマハモーターソリューション株式会社(交渉中) 2. VISION METHOD 事業のパラダイムシフトを実現するための戦略、事業施策、現場からの価値創造の方法と事例説明とIT組織の未来を討議する。

運営体制

主査	元ヤマハモーターソリューション株式会社社長 寺井康晴氏
副主査	ビジョンメソッド研究所 原口正弘所長
企画	株式会社アイ・ティ・イノベーション 林衛
営業窓口／事務局	株式会社アイ・ティ・イノベーション 鈴木遊子、渡辺聡子／織井俊幸、齊藤真由美

コーディネータおよび講師の紹介

上田惇生氏



ドラッカー学会代表理事、ものづくり大学名誉教授、立命館大学客員教授。

1938年生れ、埼玉県出身、在住。1961年サウスジョージア大学経営学科留学、1964年慶応義塾大学経済学部卒業後、経団連事務局入局。同会長秘書(調査担当)、国際経済学部次長、広報部長、(財)経済広報センター常務理事、ものづくり大学教授(マネジメント、社会論)を経て現職。処女作『経済人の終わり』から最近著『ネクスト・ソサイティー 歴史が見たことのない未来がはじまる』に至るドラッカー著作のほとんどを翻訳、紹介。最近著『ドラッカー入門』、共著『研究開発の理論と手法』『情報化時代の産業予測』。ドラッカー思想について執筆、講演。渋沢栄一賞選考委員。ベスト・リスクマネジャー・オブ・ザ・イヤー2001(リスクマネジメント協会)受賞。ドラッカー自身からもっとも親しい友人、日本での分身と言われ、ドラッカーにおいては日本の第一人者である。

村上憲郎氏

グーグル株式会社 名誉会長



2003年4月、Google Inc、副社長兼Google Japan代表取締役社長としてGoogleに入社以来、日本におけるGoogleの全業務の責任者を務める。2009年1月1日、名誉会長に就任。Google入社以前には、2001年にDocentの日本法人であるDocent Japanを設立し、同社の社長としてeラーニング業界でリーダーシップを発揮。1997年から1999年の間は、Northern Telecom Japanの社長兼最高経営責任者を務め、Northern Telecomに買収されたBay Networksの子会社であるBay Networks Japanとの合併を成功に導く。後にNortel Networks Japanと改名された同社において、2001年中旬まで社長兼最高経営責任者を務める。

日立電子株式会社のミニコンピュータシステムのエンジニアとしてキャリアをスタートした後、Digital Equipment Corporation (DEC) Japanのマーケティング担当取締役などを歴任し、マサチューセッツのDEC本社にも5年勤務。

京都大学工学士号取得

著作①「知識ベースシステム入門」

②「村上式シンプル英語勉強法」

③「村上式シンプル仕事術」

水越尚子氏

エンデバー法律事務所 弁護士

一橋大学法学部卒業後、野村総合研究所、オートデスク株式会社、マイクロソフト株式

会社の法務部門を経て、2006年 TMI法律事務所勤務。2008年には同法律事務所パートナーに就任。2010年に独立、エンデバー法律事務所を設立。知的財産、IT関連、国際企業取引などが主な取引分野であり、ITMediaにおいて「世界で勝つ 強い日本企業のつくり方 : グローバルクラウドに潜む法的課題」を掲載するなど気鋭の弁護士として活躍中である。

原口正弘氏



ビジョンメソッド研究所 所長

1945年生れ。1974年富士ゼロックス株式会社入社後、営業部門を中心に卓抜なる成果を上げ、入社後わずか3年弱で就任した佐賀出張所をその後常に西日本におけるトップ出張所として牽引するなどの実績を上げた。1980年に早稲田大学システム科学研究所にて研究生として派遣され、修士論文の「セールスマンの落胆ライン、挫折ライン」は実践的研究として高い評価を得る。その後、能力開発センター、富士ゼロックスマネジメントスクールなどで教育責任者として活躍。1990年に独立。早稲田大学で経営科学講座を担当。同時に東芝をはじめとする大企業において教育コンサルティングなどにより高い評価を得ている。

1995年にビジョンメソッドの普及を目指し、ビジョンメソッド研究所として新たに活動を開始。引き続き本田技研をはじめとする様々な大企業への導入実績を上げるなど、活躍中である。

寺井康晴氏



元ヤマハモーターソリューション株式会社社長、静岡産業大学経営学部講師

1947年生れ、京都大学工学部大学院卒業。1974年にヤマハ発動機株式会社入社後、生産技術部門においてデジタルエンジニアリングおよびテクニカルトレーニングセンターなどの企画・構築に取り組み、1999年同社取締役就任。その後、ヤマハモーターエンジニアリング株式会社常務取締役、ヤマハモーターソリューション株式会社代表取締役、ヤマハ株式会社監査役などを歴任。現在は静岡産業大学経営学部非常勤講師を務める。

林衛



株式会社アイ・ティ・イノベーション代表取締役、名古屋工業大学非常勤講師

1955年生まれ、名古屋大学工学部応用物理学科卒業。ソフトウェア開発、方法論とCASEの開発適用に従事し、モデルベース開発方法論(DOA, OO手法)を多くの企業に導入する。その後、ジェームスマーチン・アンド・カンパニー・ジャパン株式会社においてユーザ系企業、SI企業へのIT戦略コンサルティング、革新的なIT方法論の普及、適用を行う。2005年からインド政府機関のIT教育プログラムを活用した日本のIT技術者向けのソフトウェア・エンジニアリング教育に取り組んでいる。2008年3月末「情のプロジェクトカ学 ～人を中心に考える最強マネジメント論～」(実業之日本社)出版。MSMVP。

スケジュール

	2010年					2011年		
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1回	➡	8月31日						
第2回		➡	9月28日					
第3回				➡	11月30日			
第4回						➡	1月25日	
第5回							3月22日	➡

※上記は募集段階でのスケジュールであります。

以上



第1期 ITエグゼクティブフォーラムに参加いたします。

貴社名			
ご参加者名			
所属・役職			
TEL		FAX	

貴社名			
ご参加者名			
所属・役職			
TEL		FAX	

請求書送付先 :

※請求書を送付させていただきたく部署名、ご住所等をご記入ください。

個人情報の取扱について

- ※ 個人情報の利用者 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- ※ 個人情報につきましては、本セミナーに関する使用ならびに当社のセミナーのご案内、サービス紹介および情報提供等に利用させていただきます。貴殿の同意なく他の目的で利用することはありません。尚、利用者の業務の全部または一部を委託するために、利用者の外部委託先に個人情報の取扱を委託することがあります。
- ※ 個人情報の取扱に関しましては、当社ならびに外部委託先においても適切な管理を行います。

■ITエグゼクティブフォーラムのお申込みは、FAXにて事務局へ送信ください。Fax: 03-5783-2813

■ITエグゼクティブフォーラムに関するお問合せは事務局(織井、齊藤)まで
株式会社アイ・ティ・イノベーション 東京都港区港南4丁目1番8号 リバージュ品川5階

Tel. 03-5783-2811 Fax: 03-5783-2813 Mail : itef@it-innovation.co.jp

